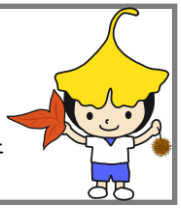
白石小学校だより

山口市立白石小学校
第７号
２０１９.１１.１発行



五 十 鈴 川 ・・・

五十鈴川という小川が小学校の西側を流れています。初夏にはホタルもとびかいます。

初秋のある日、ある先生とのやりとりです。
「校長先生、学校の前の川（五十鈴川）に子どもと入ってもいいですか」
「何をするの？」
「子どもたちと川たんけんをしたいんです」とのこと…

「それはいいね」と了解したものの、『もう少し草刈をしておこう！』『一応へびやハチなどがいないか見ておこう』と、数人の先生方とあわてて準備をしました。

さて当日、子どもたちはそれぞれしっかり考えた川に入る支度で集合しました。子どもたちはわくわくです。安全面の話を聞いた後、手あみやバケツなどを持って、そろりそろりと川に入っていきます。あみを水中で動かしますが、魚たちも一生懸命に逃げ回ります。当然なかなか捕れません。こうしてみたら・・・。つい口を出したくなります。

でも時間がたつにつれて次第に歓声があがってきます。
「なんかとれた！見て！見て！」「えび？」「やご！」
「とれたぁ！！」（20 センチあまりの魚があみに入っています）
岩の間の隙間に手あみをあて、隙間を棒でつついて、上手に魚を捕りはじめます。
「見て見て！！」と普段は気持ち悪がってさわれない子も、小魚やサワガニ、ヤゴ、カワムシをうれしそうにつかみます。（私もドンコを数十年ぶりにつかみました）

今回確認できた生き物を調べてみるとほとんど「きれいな川にすむ生き物」（指標）でした。私も実際に入って参加しましたが、川の水は澄んでおりとてもきれいで、何か子どもの頃に還ったような気分になりわくわくしました。

五十鈴川は先人のおかげでホタル護岸になっています。川底やその両脇、法面もコンクリートで覆われずきちんと小石や土でつくってあります。草刈や浚渫(しゅんせつ)などの整美・整備はとてもたいへんですが、この街中に自然を残した当時の英断に大感謝です。

五十鈴川を守る会の皆様！毎年の整備作業、本当にありがとうございます。
白石小学校シンボル『大イチョウ』も復活し、樹高4mをこえました。
五十鈴川も生き物いっぱいの小川です。白石小学校も元気いっぱいです！

白石小学校　校 長　藤 永　靖 彦

先日、一般のものですが…とお電話がありました。
『夕方、雨の中ぬれながら自転車をおして歩いていると、低学年の子が「入りませんか！」と傘をさしかけながら声をかけてくれました。とってもうれしかったので、電話しました！』とのお知らせでした。
その子の温かい気持ちと実際に行動にうつした勇気！教職員一同うれしい気持ち、幸せな気分になりました。